

饗庭野演習場における迫撃砲弾の演習場外着弾について

1 発生日時

令和3年6月23日(水) 10時40分頃

2 発生場所

饗庭野演習場(高島市)



自衛隊公表資料より

3 事案概要

饗庭野演習場において、陸上自衛隊第14旅団第50普通科連隊(高知駐屯地)が、120mm迫撃砲の実弾射撃訓練を実施している際に、砲弾の1発が演習場外の国道367号線から西に約100メートル離れた林内に着弾。

防衛省は推定原因として「装薬量を誤り、遠方に着弾した可能性」と公表。

4 被害状況

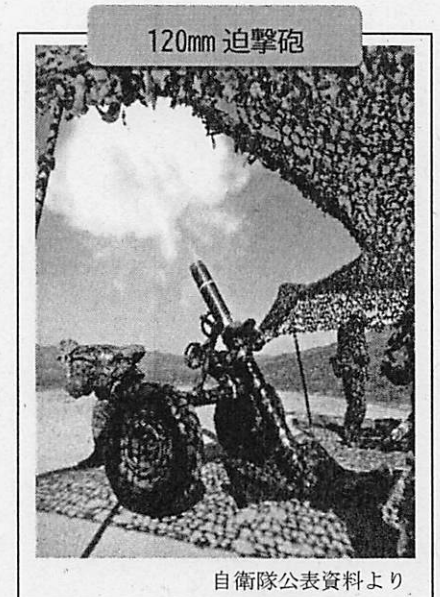
人的被害の報告なし。

5 情報伝達等

- ・ 6月23日 11時55分頃 陸上自衛隊中部方面総監部地域連絡調整室から第一報。
- ・ 6月23日 13時50分頃 事案発生の防衛省公表内容について情報受け。

6 県の対応状況

- ・ 6月23日 高島土木事務所が高島市長と現場確認。知事記者会見、知事コメント発出
- ・ 6月24日 陸上自衛隊中部方面総監、近畿中部防衛局長に対し、知事から、直ちに演習場内における全ての実弾射撃訓練の中止と速やかな原因究明、再発防止対策の徹底について、強く要請。
- ・ 6月25日 今津駐屯地司令に対し、防災危機管理監から安全要請。



自衛隊公表資料より

7 防衛省の対応状況

- ・ 6月23日14時20分、事案の発生を公表（第一報）。同日、事案発生を受け、陸上幕僚長から陸上自衛隊の各部隊長等に対し、射撃前の砲弾の点検要領を含む教範等に基づく安全管理を確実に行之、同種の事故の防止に万全を期すよう求める通達を発出。
- ・ 6月24日5時35分、高島市朽木荒川に着弾地点を確定。
- ・ 6月24日、原因究明と再発防止策の徹底が図られるまでの間、饗庭野演習場における全ての実弾射撃について中止を決定。

※現在、陸上自衛隊中部方面総監部は事故調査委員会を設置し原因究明を実施中。

- ◇ 24日11時から実施された令和3年度日米共同訓練の訓練開始式（伊丹）において陸上自衛隊中部方面総監より説明。
- ◇ 24日15時30分から実施された陸上幕僚長会見（市ヶ谷）において陸上幕僚長より説明、謝罪。
- ◇ 24日午後、官房長官記者会見（官邸）において官房長官より「極めて遺憾であり、原因究明と再発防止を徹底しなければならない。」と発言あり。
- ◇ 25日10時5分から実施された防衛大臣会見（市ヶ谷）において防衛大臣より説明、謝罪。